

## 十和田市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメント結果

募集期間：令和5年2月17日（金）～3月8日（水）

提出者数：1名（1件）

番号	意見	市の考え
1	<p>P74 取組4：公共交通空白地有償運送の見直し、取組5：新たなサービスの導入</p> <p>現在十和田湖畔では、公共交通機関は冬期運休止、NPO 法人十和田奥入瀬郷づくり大学の協力により過疎地有償運送が行われているが、料金が高い・買い物を持っての乗換が不便であるとの理由からほとんど利用されていない。</p> <p>P74 に有償運送の見直し、新たな移動サービスの導入とあるが、ぜひ検討をお願いしたい。</p> <p>例えば①湖畔地区にワンボックスカーを1台用意していただき、湖畔の住民で登録した者（二種免許保有者・有償運送の講習受講者）が週2、3回市街地へ運行することで病院・買い物・行政等への用向きができる。（料金等については要検討）車両は町内会に責任者を置いて預ける。</p> <p>②上記で市が用意した車両を、十和田奥入瀬観光機構の職員が十和田市から出勤する時に乗ってきて、空いている時間（9：00～17：00）に町内会で借りて利用する。</p> <p>③福島県会津若松市のような取組[P73]を実施する。</p> <p>④小坂町十和田湖畔の住民は、小坂町本町への移動は定額700円でタクシーを利用できる仕組みを実施している。</p> <p>休屋に診療所はあるが、専門医（歯科、耳鼻科、婦人科、眼科等）がない。</p> <p>当地域には日用品や新鮮な食材の商店がない。（きむらストアは乾物や保存食を主に販売）</p> <p>住民票等は郵便局でも受けられるが、税務関係や申告等については、高齢者はWEB等を使えず、どうしても対面等の申請になるので、いろいろな面で不便を感じている。</p> <p>若い人は車で移動できるが高齢者のほとんどは運転できない。</p> <p>ぜひ、湖畔地区の交通空白地を救うよう、利便性の確保を考えた施策・取組をお願いしたい。</p>	<p>本市の公共交通が目指す姿（基本方針2）において、高齢者等の移動に制約を抱える方をはじめ、誰もが、安全・安心におでかけできるまちの実現を目指しております。[P62]</p> <p>また、公共交通空白地有償運送については、運賃の改定や休屋・宇樽部地区における通年運行の実施等の見直しにより、利便性向上に取り組むこととしております。[P74]</p> <p>市といたしましては、その取組効果を検証した上で、いただいたご提案を含め、新たな移動サービスの導入について検討することとします。[P74]</p>